

各県立高等学校
各私立高等学校
学 校 長 殿

沖縄県高等学校文化連盟
会長 宮 城 勉 (公印省略)
沖縄県高等学校福祉教育研究会
(沖縄県立真和志高等学校)
会長 黒 島 直 人 (公印省略)

第 5 回沖縄県高校生介護技術コンテスト実施要項等の送付について (依頼)

時下、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。貴殿におかれましては、平素より本研究会の活動に対しては、ご理解と御協力を賜り感謝申し上げます。さて、本研究会は平成 26 年度よりみだしのコンテストを開催しております。つきましては、別添実施要項をご覧になり参加を希望する生徒がおりましたら、派遣下さいますようご高配のほど宜しくお願い致します。

記

添付資料

①第 5 回	沖縄県高校生介護技術コンテスト	実施要項	1 部
②第 5 回	沖縄県高校生介護技術コンテスト	実施規則	1 部
③第 5 回	沖縄県高校生介護技術コンテスト	課題【部門 1】	1 部
④第 5 回	沖縄県高校生介護技術コンテスト	課題【部門 2】	1 部
⑤部門 1・2	出場選手のみなさんへ (選手申し合わせ事項)		1 部
⑥第 5 回	沖縄県高校生介護技術コンテスト	審査項目	1 部
⑦第 5 回	選手エントリー用紙 (部門 1・部門 2)		1 部

以上

【問い合わせ】

沖縄県高等学校福祉教育研究会 事務局
(県立真和志高校内)

事務局長 崎浜 秀治

〒902-0072 那覇市字真地 248 番地

TEL : 098-833-0810

FAX : 098-834-5281

Mail : sakihash@open.ed.jp

第5回 沖縄県高校生介護技術コンテスト実施要項

- 1 目的 課題に対する介護技術を競い、介護技術力を高めるとともに、様々な介護場面において、適切かつ安全に支援できる資質と能力を育成することを目的とする。また、福祉を学ぶ生徒同士の交流を深める場とする。
- 2 主催 沖縄県高等学校福祉教育研究会 沖縄県高等学校文化連盟
共催 浦添市・うらそえ介護福祉士会
- 3 後援 沖縄県教育委員会 沖縄県産業教育振興会
一般社団法人 沖縄県介護福祉士会
- 4 期日 2019年7月6日(土) 9:00~16:40
- 5 会場 浦添市てだこホール 小ホール
- 6 競技規定 沖縄県高校生介護技術コンテスト実施規則を適用する。
- 7 競技方法 沖縄県高校生介護技術コンテスト実施規則に則り、以下の2部門で実施する。
部門1: ベッドメイキング 部門2: 課題に対する介護技術
- 8 参加資格 沖縄県高等学校文化連盟加盟校に在籍する生徒であること
- 9 参加制限 部門1、部門2ともに1校につき1チームまでとする。
- 10 参加申込
(1) 申込方法: 参加校は所定の様式に必要事項を記入の上、申し込むこと。
(2) 申込先: 沖縄県高等学校福祉教育研究会事務局(県立真和志高等学校内)
〒902-0012 那覇市字真地 248 番地
TEL: (098) 833-0810 FAX: (098) 834-5281 Mail: sakihash@open.ed.jp
(3) 参加申込〆切(エントリー〆切) 様式1
: 2019年5月24日(金) 17:00 必着(メールのみ)
(4) 選手氏名報告〆切 様式2 ※高文連ホームページからダウンロードしてください。
: 2019年6月 5日(水) 17:00 必着(メールのみ)
- 11 表彰
(1) 審査基準により総合的に評価し、部門1、部門2ともに最優秀校1校・優秀校1校、浦添市長賞1校を決定、その他を奨励賞とし賞状等を授与する。
(2) 部門2の最優秀校(選手・控え選手)を、九州地区高校生介護技術コンテストに本県代表として推薦する。推薦された学校は原則として同コンテストに出場するものとする。

12 日 程

2019年7月5日(金)	15:55 ~ 16:10	選手受付
	16:15 ~ 16:50	事前説明会・抽選会・競技会場確認
2019年7月6日(土)	9:00 ~ 9:35	受付・出場選手更衣・選手諸注意
	9:40 ~ 10:00	開会式
	10:10 ~ 11:30	競技 部門1「ベッドメイキング」
	11:30 ~ 12:20	昼食
	12:20 ~ 14:25	競技 部門2「課題に対する介護技術」
	14:25 ~ 14:40	休憩
	14:40 ~ 15:15	交流会／審査会
	15:25 ~ 15:45	表彰・閉会式
	15:45 ~ 16:40	写真撮影・片付け

13 競技上の注意事項

- (1) 出場生徒の服装は、実習服または体操服と室内履き（動きやすいもの）とする。
- (2) 出場生徒は、競技中、一切の指導助言を受けることはできない。また、何人も競技中の生徒に対して指導助言を与えてはならない。
- (3) 競技中の生徒の交代はできない。審査員の許可なく会場を離れた場合は失格とする。
- (4) 競技中のビデオカメラ・デジタルカメラ等による撮影は、競技に支障のない範囲で（競技中のフラッシュは厳禁）許可する。
- (5) 競技に使用する各校持参の物品については、指定された提出場所に提出する。また、競技の際は提出した状態のまま、競技役員が競技会場へ持ち込む。

14 その他連絡・申し合わせ事項等

- (1) 実行委員会は企画・運営に係わる業務を分担して行う。
- (2) 実施規則に持参を指示されている物品については参加校が持参すること。
- (3) 競技中の疾病傷害などの応急処置については参加校にて対応し事務局はその責任を負わない。
- (4) 参加に伴い得た個人情報については、厳正に取り扱い、本コンテスト以外には使用しない。
- (5) 参加校は、部門2で最優秀校となった場合、九州地区高校生介護技術コンテストに出場する了承を生徒から得ておくこと。
- (6) 出場順は、大会前日に出場選手による厳正な抽選により決定する。尚、抽選の順番はエントリー順となる。

第5回 沖縄県高校生介護技術コンテスト実施規則

1. 目的

課題に対する介護技術を競い、介護技術力を高めるとともに、様々な介護の場面において、適切かつ安全に支援できる資質と能力を育成することを目的とする。また、生徒同士の交流を深める場とする。

2. 運営主体

沖縄県高等学校福祉教育研究会事務局・沖縄県高校生介護技術コンテスト実行委員会

3. 実行委員会

当該年度の事務局を長とする本県高等学校福祉教育研究会会員により構成し、協力してコンテストの企画・運営にあたる。

4. 競技内容

(1) 以下の2部門で競技を実施する。

【部門1】 ベッドメイキング

出場資格：2人1組（+控え選手1人）

課題：ベッドメイキング

時間：7分

*ベッド、床頭台、マットレス、マットレスパットは実行委員会にて準備する。

*次の使用物品は各校で使用しているものを持参すること。

①下シーツ ②防水シーツ ③横シーツ ④上シーツ ⑤枕 ⑥枕カバー ⑦タオルケット

【部門2】 課題に対する介護技術

出場資格：2人1組（+控え選手2人以内）

利用者役：競技部で協議し委嘱する（発表校の関係者にならないように調整する）

課題：本実施要項内に掲載する。但し、今年度は当日課題はありません。

時間：実技・・・・・・・・・・7分

ディスカッション・・7分（アピールタイム3分、質疑応答4分）

*必要物品は実行委員会にて準備する。

(2) 選手は所定の位置で競技を開始し、競技を終えたその場所で終了を告げる。

(3) 制限時間内で競技は終了する。

5. 審査員

(1) 県介護福祉士会・福祉系上級学校等より2名選出

(2) 県内高等学校福祉科教員より3名選出

(3) 上記(1)(2)で審査員を構成する。

6. 審査基準

(1) 主催事務局、競技部によって作成された審査基準に準じて評価する。

7. 審査方法

(1) 審査方法は、プレイスナンバー方式に準じて行う。

(2) 競技の審査は、制限時間内に行われた競技内容のみを対象とする。

(3) 審査結果が同点の場合は、審査委員長と副審査委員長が協議を行い決定する。同点の結果、協議により決定した旨も公表する。

8. その他の事項

- (1) 競技方法及び審査結果に対する異議は受け付けない。
- (2) 競技に使用する物品は指定されたもの以外は使用しない。
- (3) 出場順は大会前日に出場選手による厳正な抽選により決定する。
- (4) 使用物品の写真・競技に関する質問期間・回答日は、毎大会ごとに期日を設定し競技部よりエントリー校へメールで周知する。但し、大会の2週間前に回答日を設けることとする。
- (5) エントリー校から事務局へ行われる全ての報告について、指定された書式、期日と時間を厳守した範囲内で取り扱うこととする。
- (6) 審査後の評価については当該校にのみ公開する。
- (7) 事前説明会・抽選会・競技会場見学などの詳細はエントリーした学校へメールにて通知する。
- (8) 事前説明会及び当日のビデオやカメラの撮影は競技に支障のない範囲（フラッシュ厳禁）で可とする。
- (9) 九州地区高校生介護技術コンテストへの推薦生徒は、本大会のエントリー選手とする。やむを得ない事情が生じた場合の交代選手は、本大会エントリーの補欠選手に限るものとする。
- (10) 台風等により開催が延期された場合は、事務局の指定する予備日に実施する。但し、会場の変更もあり得ることとする。

第5回 沖縄県高校生介護技術コンテスト課題

【部門1】

安里スミさんはレクリエーションに参加するため、談話室へ向かいました。安里さんは、シーツを新しく交換して欲しいと望んでいます。安里さんがレクリエーションを終え、居室に戻るまでにベッドメイキングをおこなってください。なお、マットレス、マットレスパッドはすでに敷かれています。ベッド柵はありません。また、オープンベッドにして完成させてください。

1 選手人数：2人1組

2 制限時間：7分（制限時間を超えた場合は、その場で競技を終えてください。）

3 使用する物品（以下の物品は参加出場校持参）

- ①下シーツ
- ②防水シーツ
- ③横シーツ
- ④上シーツ
- ⑤枕
- ⑥枕カバー（チャック式でないもの）
- ⑦タオルケット

※スプレットはセットしません。（ありません）

4 ベッドの状況

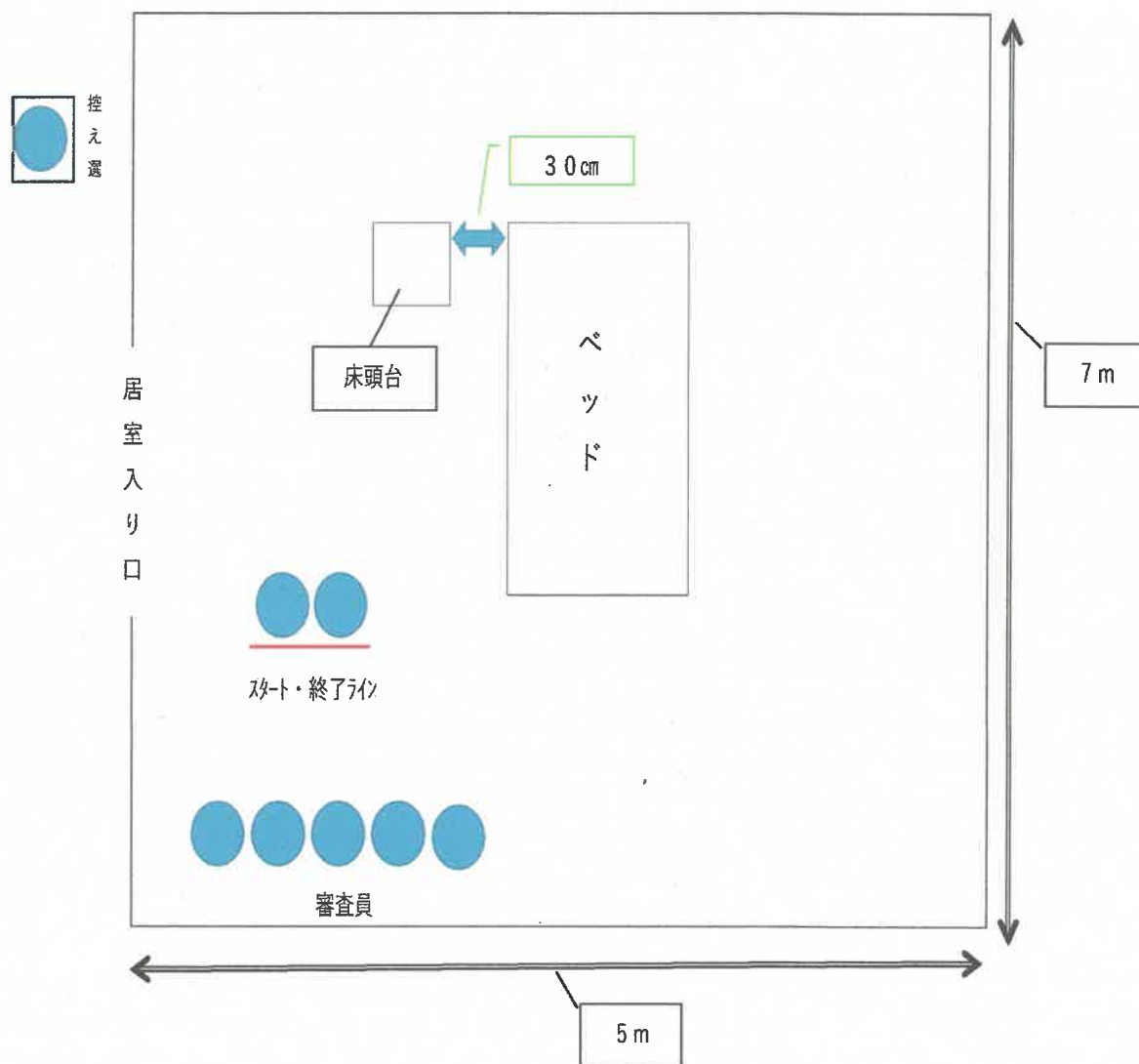
内容	サイズ
ベッドサイズ	縦 209.6 cm 横 99.6 cm 高さ 64.1～99.1 cm
マットレスサイズ	縦 195 cm 横 91 cm 厚さ 8 cm
マットレスパッドサイズ	縦 191 cm 横 85 cm（四隅にゴムバンドあり）

※ベッドは電動式で、コントロールリモコンで操作してください。

※マットレスパッドのサイズは、マットレスサイズに比べやや小さいですが、ゴムバンドで固定しています。

※マットレス止め（マットを固定する装具）は、取り外された状態です。

【部門1 会場図】



【確認事項】

- ①線の内側を競技会場（居室）とします。
- ②ベッドは競技会場の中央にあります。
- ③控え選手は、枠外に設置された椅子で待機します。
- ④競技の開始、挨拶の仕方、計測に関する規定等は、『部門1（ベッドメイキング）出場選手のみなさんへ』を確認ください。
- ⑤審査員は、競技開始後、競技に支障をきたさない範囲内で自由に移動します。

部門1 ベッドメイキング 使用する電動ベッド



リモコンは、上記に記した (○) の部分にあります。



マットレスを外したベッド本体の写真です。



背上げ、膝上げ、高さ調整機能を最大範囲で操作した状態です。



リモコン (手元スイッチ) です。
ベッドの高さ調節は、写真に記されたスイッチで操作してください。
液晶画面には、角度等の数字が表示されます。

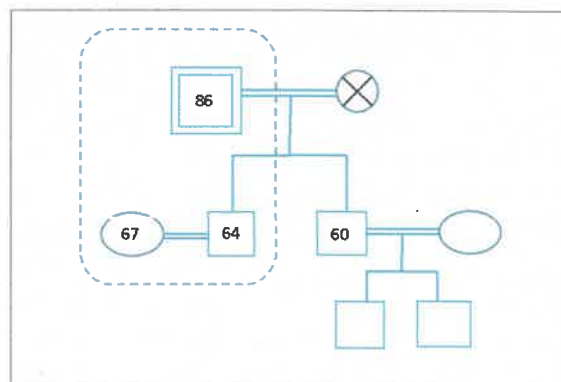
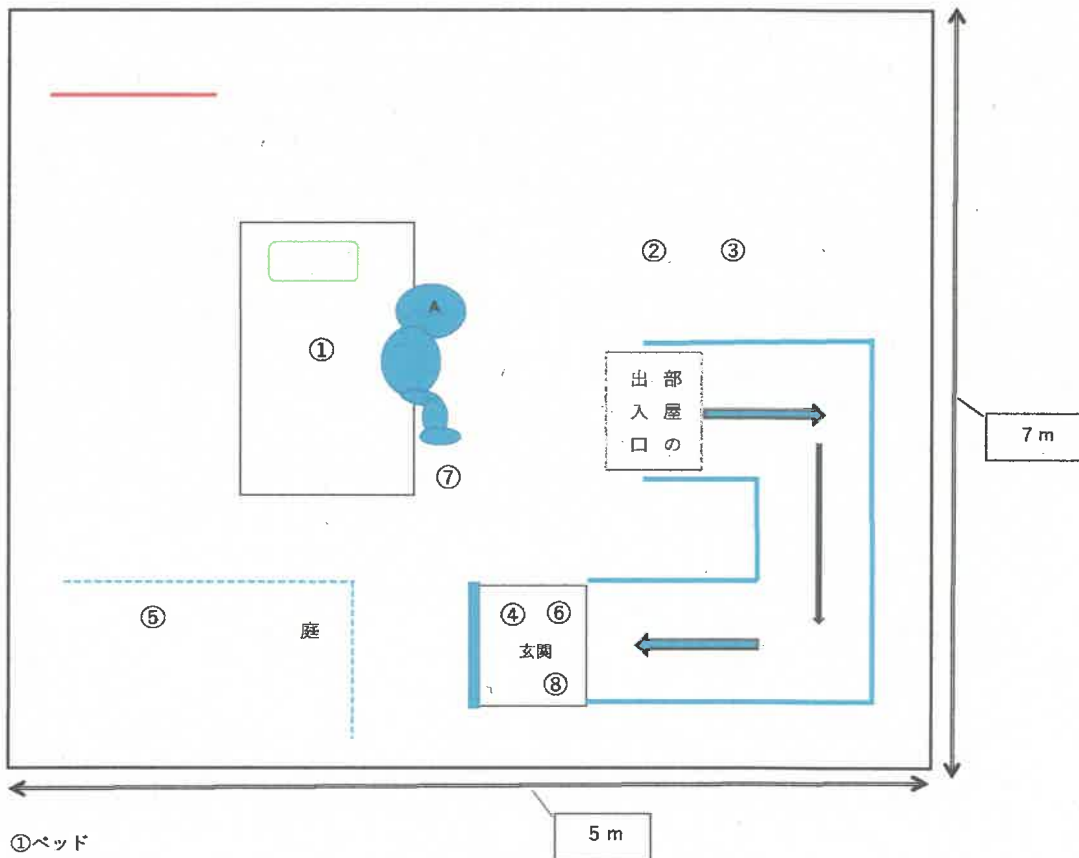
第5回 沖縄県高校生介護技術コンテスト課題
【部門2】

Aさん(86歳、男性)は、息子夫婦と3人で暮らしている。2年前に脳梗塞が原因で庭先で倒れ、後遺症として軽度の左上下肢麻痺が残っている。

Aさんは、日頃からデイサービスを利用している。また、出かける前の準備には訪問介護サービスを利用している。

本日担当する訪問介護員は2名で、初めてAさん宅を訪れる。Aさんは朝食を終えたが、その際ズボンを汚してしまった。この後、デイサービスの送迎車を、庭先で待つ予定だ。庭先の椅子に腰かけるまでを介助しなさい。

※認知症、失語症の症状は特にない。



健康状態 心身機能 身体状況	<ul style="list-style-type: none"> ・脳梗塞の既往歴あり。 ・要介護度 2。 ・左上下肢麻痺。(軽度) ・右利き。 ・歩行には支えが必要。
参加	<ul style="list-style-type: none"> ・隣近所との付き合いは昔から良好。 ・一人での外出ができなくなり、地域イベントへの参加が難しくなった。 ・デイサービス「うちなー」に週 4 日通っている。送迎車を利用。
活動	<p>座位：可能。</p> <p>立位：手すり使用で可能。</p> <p>移動：歩行は一部介助。 杖歩行可能。なるべく歩行するよう医者からの指示あり。</p> <p>屋内歩行：杖歩行自立。</p> <p>屋外歩行：杖歩行一部介助。</p> <p>起居動作：自立。</p> <p>衣服着脱：上衣は自立。下衣は一部介助。下位更衣動作は時間がかかる。</p> <p>排泄：自立。</p> <p>トイレ動作：自立。</p> <p>移乗：手すり使用で可能。</p> <p>尿意：あり。トイレでの排泄可能。</p> <p>食事：自力での摂取可能。時間はかかる。</p>
個人因子	<ul style="list-style-type: none"> ・ 86 歳。 ・ 男性。 ・ 建築関係の仕事をしていた。 ・ 趣味：盆栽。庭先に置いている。 ・ 性格：社交的。近所付き合いが良い。
環境因子	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもが 2 人 (長男、次男) いるが、長男夫婦と生活している。次男家族は車で 1 時間の距離にある隣町に住んでいる。 ・ 家族構成は、ジェノグラムを参照。 ・ 長男夫婦 (60 代) もそれぞれが持病をもっており、A さんの介護を全て行うことができない為、訪問介護を利用している。訪問介護は週 4 日。 ・ 玄関先はリフォーム済みで廊下とはフラットな状態であるが、ドアのサッシ部分に低い段差がある。

部門1（ベッドメイキング）出場選手のみなさんへ

- 1 競技会場に到着後、選手控え室前（多目的室1）にて競技受付を行ってください。更衣後に同室にて諸注意を行い、使用物品を持って保管場所へ移動します。その際は、競技委員の指示に従ってください。なお、一度所定の位置に保管した後は、使用物品に触れることができませんので事前にしっかり確認を行ってください。
- 2 開会式・閉会式への参加は、競技時の服装で参加してください。
- 3 開会式後の競技諸注意が終わったら、部門1出場者は誘導係の指示に従い、控え室に移動します。控え室へ入場後は、所属校の先生や生徒、関係者との接触はできません。携帯電話等の使用も禁止です。
- 4 緊急の用事があるときは、誘導係もしくは控え室監督係に申し出てください。控え室内では、静かにお願いします。
- 5 競技会場に入る前に使用物品を受け取り、誘導係の指示に従って、競技会場に入場してください。そこから、会場の進行係の指示に従って、競技に臨んでください。
- 6 競技会場に入ったら、使用物品を代表選手で床頭台にセットしてください。準備ができれば、代表選手2人並んでスタート・終了位置に立って審査員の方を向ってください。残りの選手は、所定の場所に移動してください。
- 7 スタート位置に代表選手2名は並び、進行係の指示に従い「学校名と名前」を述べてください。また、進行係が「はじめてください。」といった後、代表選手のどちらかの足がスタート位置から離れたときに計時が開始します。
※進行係が「はじめてください。」と言う前に、全ての使用物品に触れることはできません。
- 8 制限時間2分前に1鈴、制限時間時に2鈴。制限時間内に競技が終了していない場合、その場で競技を終了してください。
- 9 競技終了後、選手2名は手技を終えた場所で「終わりました」と言って終わって下さい。
※「終わりました」と言った後に計時を止めます。
- 10 計時係から、実技に要した時間のお知らせがあります。
- 11 競技後は、選手全員でスタート位置に並び（補欠選手も含む）、一礼をして誘導係の指示に従い退場してください。退場後についても、競技委員の指示に従い、指定された観客席にて競技を見学してください。物品は、昼食時間の開始時に、舞台袖の保管場所まで取りに来てください。

部門2（課題に対する介護技術）出場選手のみなさんへ

- 1 競技会場に到着後、選手控え室前（多目的室1）にて競技受付を行ってください。更衣後に同室にて諸注意を行い、開会式会場へ移動します。その際は、競技委員の指示に従ってください。
- 2 開会式・閉会式への参加は、競技時の服装で参加してください。
- 3 部門2出場者は、指定の時間に控え室で点呼を取ります。遅れずに集合してください。
（当日の競技開始直前となる控え室への集合時間は、前日の事前説明会時に周知します）控え室へ入場後は、所属校の先生や生徒、関係者との接触はできません。携帯電話等の使用も禁止です。※今年度は当日発表の課題はありません。
- 4 緊急の用事があるときは、誘導係もしくは控え室監督係に申し出てください。控え室内では、静かにお願いします。
- 5 準備ができれば代表選手2名は、並んでスタート位置に立って審査員の方を向ってください。残りの選手は、所定の場所に移動してください。
- 6 スタート位置に代表選手2名は並び、進行係の指示に従い「学校名と名前」を述べてください。また、進行係が「はじめてください。」といった後、代表選手のどちらかの足がスタート位置から離れたときに計時が開始します。
※進行係が「はじめてください。」と言う前に、使用物品に触れることはできません。
- 7 制限時間2分前に1鈴、制限時間時に2鈴。制限時間内に競技が終了していない場合は、その場で競技を終了してください。
- 8 競技終了後、選手2名は手技を終えた場所で「終わりました」と言って終わって下さい。
※「終わりました」と言った後に計時を止めます。
- 9 計時係から、競技に要した時間のお知らせがあります。
- 10 競技後は、選手全員でスタート位置に並びます（補欠選手も含む）。進行係が「アピールをお願いします」と言ったら、アピールを3分間行ってください。アピール及び質疑応答は、選手全員でおこなってください。
アピールを終えたら「以上です。」と言ってください。言った後に計時を止めます。早めに終われば、時間を繰り上げて終了します。時間超過した場合は、鈴が鳴った時点で終了としますので、アピールを止めてください。これは、次の質疑応答も同様です。
- 11 次に、進行係が「質疑応答をお願いします」と言ったら、審査員の質問に答えてください。4分間あります。この際、選手全員で打ち合わせて答えても構わないですが、打ち合わせの時間も計時します。審査はその応答を受け評価します。
- 12 すべて終了しましたら、選手全員で一礼をし、誘導係の指示に従って退場してください。その後、指定された観客席にて競技を見学してください。

第5回 沖縄県高校生介護技術コンテスト

審査項目

※以下の項目について、総合的に審査する。

※実技は、制限時間内に行われた手技のみを審査対象とする。

【部門1】 ベッドメイキング

No.	審査項目	備考
1	事前準備	
2	安全面の確認	
3	各リネンでの手技	
4	清潔・リスクへの配慮	
5	介護者同士の連携	
6	利用者への配慮	
7	仕上がり度	

【部門2】 介護技術

No.	審査項目	備考
1	コミュニケーション	
2	自己決定の尊重	
3	自立支援	
4	意欲を引き出す工夫	
5	安全・安楽への工夫	
6	心身の状況に応じた介護	
7	介護者同士の連携	
8	アピール及び質疑回答内容	

【様式1】

第5回 沖縄県高校生介護技術コンテスト エントリー報告書

(申込日 : 2019年 月 日)

報告〆切 : 2019年5月24日 17:00

学校名		TEL	
報告者氏名		FAX	
メールアドレス			

出場する部門の欄に、○をつけて回答ください。

【部門1】	ベッドメイキング	
【部門2】	課題に対する介護技術	

※今後、競技部からの連絡事項は、メールにて上記担当者アドレスへ送信します。

※本報告書は出場の有無を把握するためのものです。

選手の氏名報告については、【様式2】にて報告ください。

※今年度は、部門2「課題に対する介護技術」は、当日課題はありません。

【様式2】

第5回 沖縄県高校生介護技術コンテスト

= 選手・引率者氏名報告書 =

申し込み日 2019年 月 日

報告〆切：2019年6月5日 17:00

学校名		報告者氏名	
------------	--	--------------	--

【部門1】

フリガナ			
選手氏名	(男 ・ 女) (年)	(男 ・ 女) (年)	
フリガナ			
選手氏名	(男 ・ 女) (年)		
引率教諭氏名			

【部門2】

フリガナ			
選手氏名	(男 ・ 女) (年)	(男 ・ 女) (年)	
フリガナ			
選手氏名	(男 ・ 女) (年)	(男 ・ 女) (年)	
引率教諭氏名			

* 競技選手の引率教諭とは、選手に帯同して会場確認時に競技会場内に入場できる者となります。

【見学生徒・見学生徒引率教諭・その他引率教諭人数】

見学生徒数	名	引率教諭数	名
-------	---	-------	---

※本報告における見学生徒とは、見学のみで参加する生徒数です。生徒役員とは別になります。

- * 1. 全ての項目に入力の上、メールにてお申し込み下さい。
- * 2. 各校の見学生徒数につきましては、状況により人数の制限をすることがありますのでご了承下さい。
- * 3. コンテスト当日は、マスコミ取材の予定があることを全ての参加者にご連絡下さい。